|--|

令和4年度 理科

	教科	理科	科目	地学基礎 単位数		2 単位	年次	2年次
	使用教科書高等学校 改訂 地学基礎 (第一学習社)副教材等改訂 ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

宇宙はどのように誕生したのだろうか。私たちの住む地球は宇宙のどこにあるのだろうか。など、地球や宇宙に対して今までは考えたことのないようなスケールの大きな内容を長い時間間隔と短い時間間隔の両面から学びます。長い時間間隔で見ると変化している宇宙や地球も短い時間間隔でみると平衡状態にあるように見えるのです。宇宙や地球の様々な現象に興味を持ち、自ら学び取る積極的な姿勢で挑みましょう。

2 学習の到達目標

- ・地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解を深める。
- ・地球と宇宙に関する事柄を分析的・総合的に考察する能力と態度を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球や宇宙に関する 現象に興味・関心を持 ち、それらを知るだけ でなく、分析的・総合 的に考察する基礎的 な態度を身に付けて いる	地学基礎に関する与 えられた課題をこな すだけでなく、自ら課 題を見出し、解決を目 指して思考を深め、適 切に判断し工夫する ための基礎的な能力 を身に付けている。	実験に関する装置・ 器具そのものや実験 から得られた結うに しく取り扱でき、実験を と ができ、実験を見こ る様々な現象を見さない 基礎的な 力や処理する方と 身に付けている。	地球や宇宙に起こる 現象についての概念 や原理、法則の基礎 的な知識・理解が身 についている。
評価方法	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の提出状況 ・自己評価&相互評価	・グループワークの取り組み ・学習の取り組みをま とめたレポート ・提出物	・実験器具などの取り扱いの状況 ・グループワークの 取り組み ・学習の取り組みを まとめたレポート	・定期考査・小テスト・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	学習	学習内容	主な評価の観点		点	生徒の到達目標		
期	項目	子自內合	a	b	с	d	工作の判定日保	評価方法
1	宇宙に	宇宙の構成	0			0	a. 宇宙の構成と活動や火山活動・地震について感心を持ち、意欲的に探究しようと	
学期中間	宇宙における地球	太陽	0	0		0	する。 b. 銀河・太陽・惑星などの特徴や地球の活	小テスト
間		太陽系の中の 地球	0		0	0	動について理解し、記述できる。 c. 地震や液状化現象などの実験を行い、現	レポート取り組み提出物定期テスト
1 学	活動す	地球の姿	0	0		0	象を観察し、内容を的確に記録・整理し ている。	
1学期期末	活動する地球	火山活動と地 震	0		0	0	d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容 の根幹を理解し、それぞれのつながりを 整理できている。	
2 学	移り変	地層や岩石と 地質構造	0			0	a. 地球の歴史や古生物、大気と海洋の運動 について感心を持ち、意欲的に探究しよ うとする。	
2学期中間	移り変わる地球	地球環境と生 物界の変遷	0	0		0	大気や海洋の運動を地球規模の循環として捉え、記述できる。地球の歴史に伴う生物の変化を一連の流れとして理解し、記述できる。 大気と海洋に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
2 34	<u>2.</u> ,	地球の熱収支	0			0		
2学期期末	大気と海洋	大気と海洋の運動	0		0	0		
张	地球の環境	地球環境の科 学	0		0	0	a. 地球環境や日本の自然環境について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 地球環境の科学と日本の自然環境を結びつけ、記述できる。 c. 地球環境に関する探究的な授業を行い、	小テスト レポート
3 学期		日本の自然環境	0	0		0	内容を的確に記述・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	取り組み 提出物 定期テスト

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について ○を付けている。